



通信

HP 学校だより
R6. 6. 21
NO. 13
文責 伊藤美佳



野外活動を終えて

5年生は、19日（水）、20日（木）の2日間、愛知県野外教育センターで野外活動を行いました。

キャンプスローガンは「仲を深めて楽しいキャンプにしよう」です。このスローガン達成のために

- ① 自分の係は責任をもって最後までやりきろう
- ② 切り替えをして自分から行動しよう
- ③ 自分のことだけでなく、みんなで助け合おう

というめあてを決めました。さて、野外活動での子どもたちの様子はどうだったでしょうか。

入所式の最後に「国旗、校旗掲揚」を行いました。その時、機材の関係もあって、国歌を流す準備をしていませんでした。ところが、掲揚し始めると自然に国歌を歌い始める子どもたち。誰が指示したわけでもありませんが、「国歌が流れていた方がよい」と判断したのでしょう。子どもたちの歌声はだんだん声が大きくなり、国旗、校旗掲揚を終えました。自分から行動し、みんなで助け合った一場面でした。

野外炊飯では、それぞれの担当を決めてありました。スタートした時には、それぞれの係の持ち場につき、準備を始めていました。しかし、火を早くつけてしまうと、ご飯やカレーを作る薪が足りなくなってしまうます。そんな投げかけをすると、自分の係ではない野菜を洗ったり、切ったりなどの仕事をし始めました。助け合ったおかげで、本当においしい、ご飯とカレーが出来上がりました。ほとんど残飯はなく、しっかりと食べる事ができたのもよかったです。

また、ご飯やカレーを火にかけているときも、先に片付けようと動いている子たちがいました。責任をもって最後までやろうとする姿勢が見られました。

キャンプファイヤーでは、本当に盛り上がりました。特に「新幸田音頭」、最高でした。素敵な時間を一緒に過ごせて、幸せな2日間でした。

どうする とよさかっ子

20日（木）の一斉下校で、ある班の1年生が転んでしまいました。血も出ているし、泣いています。6年生の班長は「どうする！」を考えました。

まず、絆創膏を持っているか聞きました。その後、近くのお店の人も来てくれ、学校に電話をしてくださいました。次に、班の半分の子たちを家に向かわせて、お家の人に連絡をするように指示を出しました。自分たち数人は残り、先生たちが来てくれるのを待ちました。しばらくすると見守り隊の方が来てくださったので、その子をお願いして、自分たちは家に向かいました。

本当にしっかりと自分で「どうする！」を考え、判断し、行動できていて、「あこがれ」ます。とよさかっ子のすてきな行動にうれしくなりました。